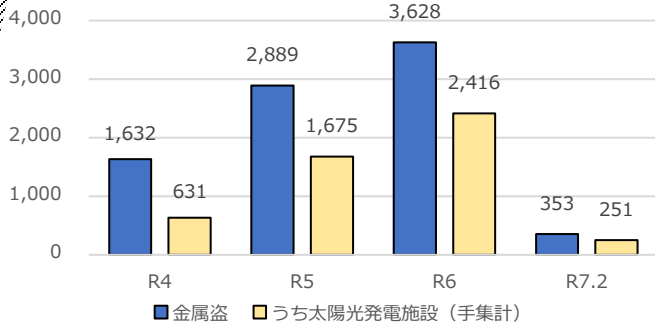


金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

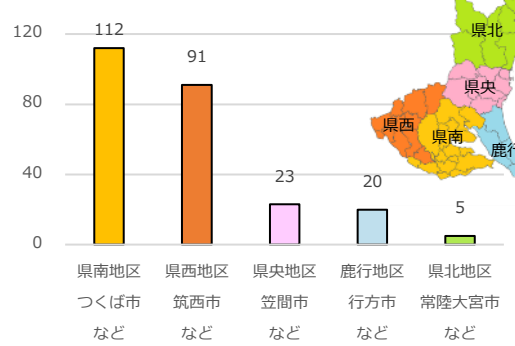
1 金属盗の発生件数（暫定値）



茨城県は、金属盗の発生件数が全国最多
発生件数は、昨年同時期3.2割減少
太陽光発電施設での被害が7.1割を占める

太陽光発電施設関係の発生状況

2 令和7年2月末の地域別の発生件数（暫定値）



県南・県西地区で多発
小規模太陽光発電施設でも発生

金属盗の現状と対策

主な被害品とは

・銅線・銅管

・グレーチング



・真鍮製バルブ

・敷鉄板



・触媒
・橋などの銘板
・銅像 など

※金属の価格が高騰していることから狙われています。

茨城県特定金属類取扱業に関する条例

金属くず商、金属くず行商は全部改正を経て、特定金属類取扱業者となります。
特定金属類取扱業を営む予定の方は、新たな許可が必要となります。

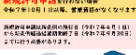
令和7年4月1日施行

重要

罰則の強化について

違反者の罰則について引き上げを行います

- 1年以下の拘禁刑または100万円以下の罰金
 - ・無許可営業
 - ・偽り、不正手段による許可の取得
 - ・名義貸し
 - ・営業停止命令違反
- 6月以下の拘禁刑又は30万円以下の罰金
 - ・営業の制限違反
 - ・本人確認記録の作成
 - ・本人確認記録の保存義務違反
 - ・取引記録の作成、虚偽記載、保存義務違反
- その他 30万円、20万円、10万円以下の罰金等



太陽光発電施設被害抑止対策



令和7年2月中に
アルミケーブルに置き換
えていたことから切断のみ
で盗難被害を防いだ施設が
ありました。

- ・フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- ・機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- ・警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- ・引込柱や集電箱へのフェンスやカバールの設置（ケーブル切断対策）
- ・ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・固定など）
- ・防犯カメラ（AI・警報機能付き）や夜間照明機器の設置
- ・アルミケーブルの導入
- ・夜間監視体制の強化

複数対策が
有効です！

